

昭和五年七月號

工事タイムス

◇鐵 道◇

大阪市の 高速鐵道

大阪市高速鐵道の計畫になる大江橋
淀屋橋本町間の地下鐵工事は大林組
請負にて目下同通兩側のシートパイル打込作業と
江橋假橋架設作業中であるが、右兩工事の終了次第
愈々本工事たる地下工事に取替る豫定である。

尙地下鐵の工事は作業が至難と云ふ事に注意を拂
はれて案外等閑に附せられてゐるものは防水工事で
彼の東京地下鐵に於いても失敗を演じ湧水が豫想以
上であると云ふ事であり、それに目下工事中の大阪
地下鐵は土佐堀川、淀川の二大大河を挟み湧水の點
は想像以上と云はれてゐるが、今回の防水はコンク
リートの上にアスファルトを用ひその中に煉瓦を入
れて嚴重に施工し、更にアスファルトで押へて防水
する事となつた、其の防水材は面積が大きいだけ莫大
な經費を要するので詮衡の上にも詮衡して決定する

もので市としては唯宣傳のみの高價な粗惡品は絶對
に採用せない事になつてゐる、尙作業中の湧水排出
には相當考慮を拂はれてゐるらしいが大體市として
は東京市の地下鐵工事を參考として充分注意を拂ふ
らしい。

同工事に次で大工事と云はれてゐるのは二大橋の
河底工事で、地上から約六十尺以上掘下げられるの
であるから大阪市としても始めての大難工事に打つ
突かつたわけである、而して河底工事と同時に市の
誇りとも稱す可き代表的模範橋を架設するのである
から期せずして斯界の注目は同工事に集中されてゐ
る。尙又淀屋橋南詰の地下停車場は地下五十尺を入
つた河底に建設しエスカレーターを以て乗客を昇降
さす事になり何分右工事の總經費は七百五十萬圓と
云ふ莫大なものであり市としても世界に誇るに足る
大事業である。

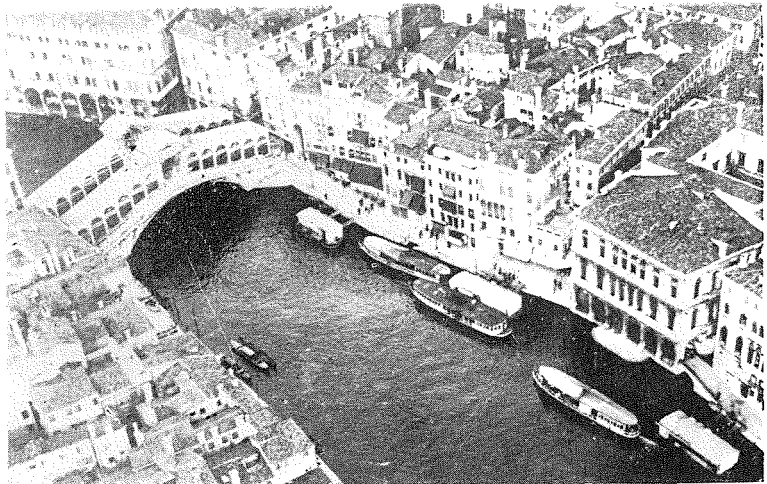
◇道 路◇

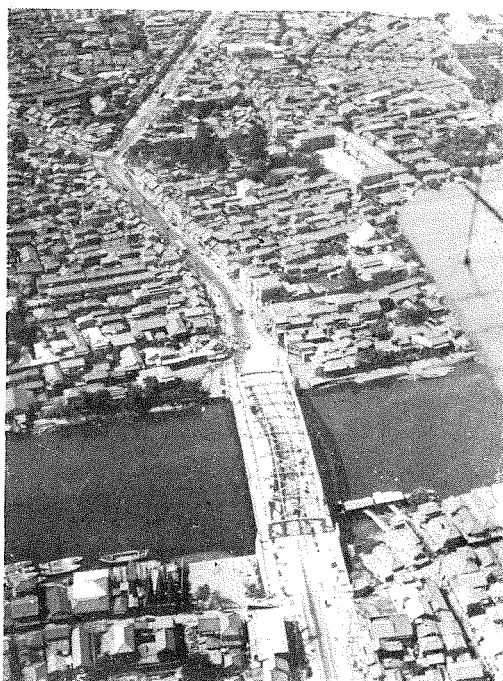
大阪市内採用の 新道路舗装法

道路舗装用のアスファルト乳
劑に關しては従前大阪市役所
に於ても輸入に仰いでゐた状態であつたが今回國産
品にて間に合せるべく準備中のところ、遂に大阪市
立工業研究所宮武技師が研究したる乳劑製造法を採
用する事になつたこの結果鶴町に於ける土木倉庫に
二〇噸容量タンクを設置してこれに新考案の重油燃
燒裝置を据附けることに決定してゐる、これは大阪
市役所に於ける最初のものにして完成の曉はアスフ
アルトと藥液とを調合して一定溶液を貯藏し何等加
熱せず冷温のまゝで隨意に必要場所に運搬して鋪

ベニスのリアルト橋

伊太利の水都ベニス
のリアルト橋1927年
の飛行寫眞。有名な
古代の橋梁にして、
橋面は階段をなし、
橋の兩側は小店舗に
なつてゐる。(日本大
學工學部教授、成瀬
勝武氏所藏)





(1) 隅田川、千住大橋附近

装を行ふ事となり従前の如く街上に於て石炭燃焼による作業は廢止せられるに至つたと。

《米國で好成績の
混凝土道修繕法》
コンクリート舗装道路を修繕するハント式なる新方法が最近米國で試みられて良好な成績を擧げてゐるそうである。此の方法に使用するのはトリニグツド湖アスファルト、パーミユデツツ・アスファルト及びキルソナイトの混合物を高温度で混淆し之を石油溶劑で薄めて更に然るべき色素を加へたもので破損したコンクリート道路面にコンクリートを流し込んでから之を用ひると極めて丈夫に蜜着し水や空氣にも耐久力の強い舗装材となるのである。修理個所にコンクリートを注入して後直ちに噴霧器で混合物を吹きつけ以てコンクリート中の水分蒸發を防止するのであるがコンクリート中の水分と其作用を巧みに利用することが此の方法の基礎となつてゐるからであると尚ほ混合物の使用量は二十二平方碼當り一ガロン内外であると

《道路改良の含
理化を目指す》
大阪市立工業研究所では道路技術の發達を圖り之が改良の合理化に資せんが爲に大阪を中心とする各府縣當局と道路工事業者及材料業者の研究懇談會を開くべく豫

て計畫中だつたが、六月十四日午後一時より同所産業獎勵館に於て開催した。

大阪府市、京都市、兵庫縣及神戸市、姫路市、奈良縣、滋賀縣及大津市、和歌山縣、岡山縣、内務省大阪土木出張所京大工學部、内務省道路改良會東京道路研究會、内務省土木試験所及び道路工業者並に材料業者等約百二十名出席。

會は主催者として高岡博士が開辭を述べ次で同所の小山技師は『各種路面の耐久力試験成績に就て』日本石油の市川技師は『道路用瀝青材料に就て』小野田セメントの狩限専務は『最近に於けるポルトランドセメントの進歩に就て』夫々講演をなして後下記の議題を中心として懇談會を進めた。

(一)道路用材とに關する件(二)簡易舗装の方法如何(三)一般道路に關する事項(四)其他

◇ 建 築 ◇

《日比谷の一角に
三信ビル落成》
一昨年來東京日比谷の一角に工事中であつた三信ビルはこの程見事に竣工した。

該建築は横川工務所松井博士の設計に成るもので鐵骨鐵筋コンクリート造り地下二層、地上八階、總延六千七百坪餘近世式の堂々たる建物で總工費二百萬圓基礎工事は清水組の請負に成り建物主體は大林組の手で、その他附帶設備は直營を以て施した、最近の建築界に於ける傑作として建築家間に評判を擧めてゐる。

《高島屋日本生命館の
設計圖案入選者決る》
豫て懸賞募集中であつた日本生命高島屋の建築圖案は今回審査の結果入選者下の如し、

入選者十名中特選高橋貞太郎、同出張龍三、同下山猛、住作西村好時、加崎章、第一相互館營繕課中村皓一、野村安太郎、黒川仁三、矢部金太郎以上、尙審査員は工學博士伊東忠太、同武田晋一、同塚本靖、同佐藤功一、同片岡安氏、日本生命社長弘世神太郎、同社取締役田中弟稻、同監査役坂野兼通、高島屋取締役飯田直次郎氏等であつた。

◇ ヘルゴンと光明丹 ◇

《鋼構造物は如何なる
塗料で錆を防ぐか》
此の問題は工事構造物の耐久年限に對する重大な問題であるが、工事關係の技術家は從來塗料に對して兎角冷淡であつた。

現在では特種の防錆塗料が多數製造されてゐるが耐久力の點ではやつぱり缺點がある。而して錆止めとしては優秀な光明丹が依然として絶對的のものである。然し從來のものは粉末混合に際し使用上の不便と不經濟がつゝあつたが、今回特許品として『溶解光明丹』なるものが出來た、本品は多數の特色を有するものであるが、特に塗料技術の點に於て確に革命的な新製品として推賞すべきものである。

尙ほ光明丹の下塗を要せずして防錆の目的を達する特別塗料『ヘルゴン』は數種の異つた色調を有し、美的防錆塗料として優秀なものである。以上二種の塗料は日本ペイント社の製品である。

◇橋 梁◇

〔奈良縣の橋梁〕 奈良縣に於て豫て計畫中の土木
〔愈々改修着手〕 事業としての橋梁改築工事は今回愈々着手せられる事となつた、即ち着手せられる橋としては大和川支川富雄川筋橋梁架け替が望目現橋五十八米鐵筋コンクリート造四本建桁型スリースパンであり全長二十三米二〇幅巾五米五〇並に大和支川寺川筋橋梁は鐵筋コンクリート造り下路式ガード有効幅巾四米六十浬スパン七米餘スリースパン二十三米餘であり、橋臺は總てコンクリート造とな

(2) 隅田川、永代橋上より深川方面を望む



すものである。

〔白鬚橋〕 東京隅田川に架する白鬚橋は最近第一期下部工事を大林組の手で完了直ちに第二期上部工事に着手すべくこの程東京府土木課に於いて之が指名入札を執行したが豫算を超過した、依つて府では最低者大林組と隨意契約をなすべく目下交渉中であるから近日中決定を見るものと見られてゐる。

◇會 合◇

〔港灣協會總會〕 社團法人港灣協會の第三回通常
〔新潟に開かる〕 總會は六月五日午前九時より新潟市の白山公園物産陳列所本館に於て開催、集まるもの

會長水野鍊太郎氏、副會長松波仁一郎氏を始めとして三邊長治(内務省土木局長)三橋信三(三菱倉庫)丹羽勘彦、大河内宗治(鐵道省)中野金太郎(國際通運)井上範(帝大)松田泰平(參謀本部)の諸氏以下五百餘名

會務其他報告あつて後三十一よりなる議事を附議し總會終つて正午より同所陳列館に於て會長主催の下に午餐會を開催、午後二時より新潟縣營埠頭及新潟臨港會社の埠頭諸設其の他を視察し終つて午後六時より新潟縣共同主催の招待晚餐會に主客歡を盡して散會した、尙同日午後七時より萬代橋上流西岸埋立地に於て港灣活動寫眞の野外映寫があつて一般に公開された。

〔東北六縣の〕 東北各縣の土木課長は去る五月
〔土木課長會議〕 八日より十一日の四日間山形市に會合して所管事項に關し種々協議したが、其結果各縣相互の連絡並に地方的事情等を知るを得共通的の問題には出來得る限り相提携する方法をとることに決し、土木事業を先づ以て進捗せしめ、東北地方振興に資する事を協議した。出席者は、山形縣課長兒玉靜夫氏、關係技師道路主事、岩手縣課長長谷川勝伍氏、道路技師畠山英三郎氏、青森縣課長柳井照藏氏、土木技師高橋經德氏、福島縣課長淺見洋氏、道路技師栗原斧衛氏、秋田縣課長片桐兼次郎氏、道路技師小川昌光氏等で、宮城縣側は會々仙臺市役所の怪疑事件の發生があつて参加に至らなかつた。尙議案23の内二三を摘記すると、東北方面に於ける道路舗裝の最適工法如何、道路の維持修繕に於ける最も良結果を得る方法如何、寒中コンクリート工の施行と其結果如何、技術の向上並に技術員優遇に關する件等である。